

ごあいさつ

「環境保全活動と“安全・安心”への取り組みをコアにニチレイグループのCSRを追求してまいります」



代表取締役会長

大戸武元

代表取締役社長（環境保全委員会委員長）

浦野光人

2004年度を「CSR元年」と位置づけ、企業の社会的責任を追求してまいります

私たちニチレイグループは、「くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する」ことを経営理念とし、人々のくらしに本当に役立つ商品やサービスを創り出し、健康でこころの豊かな生活の実現に貢献する企業グループとなることを目指してまいりました。

こうしたビジョンを達成するためには、あらゆるステークホルダーつまり、生活者の皆様やお取引先様、株主様、従業員に信頼され、支持いただける企業グループであり続けることが第一だと考えております。

こうした姿勢は、昨今、わが国においても注目を集めている

CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)経営にも通じるものと認識しておりますが、当社グループが今後さらなる企業価値の向上を図っていくためには、もう一度「ニチレイグループのCSR」を見直し、現状の課題の抽出や明確な方針・目標を策定する必要があります。

そこで、当社グループは2004年度を「CSR元年」と位置づけるとともに、社内に「CSR経営推進プロジェクト」を発足し、当社グループにおけるCSRのあり方を検討するための活動、企業の社会的責任を果たすためのさまざまな仕組みづくりを開始いたしました。

この活動の成果や進捗状況につきましては、今後も継続的にご報告してまいります。

環境保全活動をさらに加速させるべくゼロエミッションへの取り組みを本格化いたします

今後、ニチレイグループのCSRを追求していく上で最も重要なテーマの一つとなるのが、環境保全への取り組みです。

当社グループは、冷凍技術を基盤とする食品の製造、販売、保管、流通を事業の中核とし、その事業活動のなかでさまざまな環境負荷を排出しています。この事実を重く捉え、これまでも積極的に廃棄物の削減やリサイクル、省エネルギー、省資源、環境負荷の小さな原材料、物品の購入を進めてまいりました。

こうした活動をさらに加速させていくために、2004年度からは「ゼロエミッション(あらゆる環境負荷のゼロ化を目指した活動)」を本格化させていく考えです。具体的には、食品工場や物流倉庫だけでなく、当社グループの事業活動からすべてのごみを減らしていくために、本社を含めた全事業所において、啓蒙活動や改善活動を開始しております。

なお、2003年度における具体的な環境保全活動およびその成果につきましては、本誌に詳しく報告しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

食品の“安全・安心”に関する信頼回復に向けてグループ一丸となった取り組みを推進してまいります

さらに、生活者の皆様の食品に対する“安全・安心”への不信感が高まり、企業の選別が進むなか、信頼回復に向けた取り組み強化も重要なテーマであると考えております。

当社グループでは2003年度より内部通報制度の整備を実施したほか、経営トップが全国の事業所を訪問し、コンプライアンスに関するディスカッションを実施するなど、社員一人ひとりの意識向上を目的とした活動も開始しております。

しかし、そうしたなかで3度にわたって当社製品が自主回収に至ったことを深くお詫び申し上げます。今回のような問題が発生した要因を明確にし、お取引先様との協力体制を強化しながら具体的な改善策を講じるとともに、より科学的な根拠にもとづく「安全」を追求し、“安全と安心”がイコールで結ばれた価値ある商品・サービスの創出に取り組んでまいります。

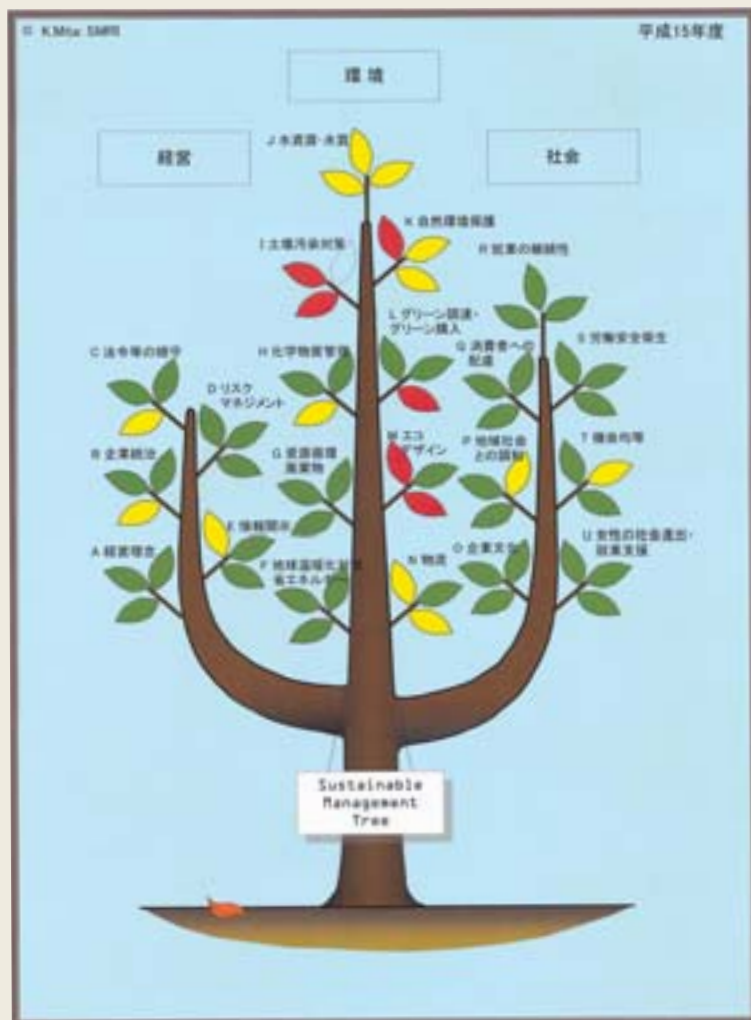
そして環境保全活動と“安全・安心”への取り組みをコアにニチレイグループのCSRを追求し、また、企業は一人のみで存在し得るものではないということ、真摯に、謙虚に受け止めながら、生活者の皆様やお取引先様、株主の皆様、従業員、地域社会の皆様など、あらゆるステークホルダーの皆様へに支持される企業グループとなれるよう努力してまいります。皆様の変わらぬご支援・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

各種委員会の概要

倫理委員会	ニチレイグループの企業倫理、行動規範、取締役の賞罰などに関する事項の検討・答申
リスクマネジメント委員会	ニチレイグループの全体の事故および事件に類するリスクの未然防止施策並びに発生時の対応などについての検討・調整・決定
環境保全委員会	環境保全型社会との共生を維持するための環境保全に関する政策と方針の企画・立案
品質保証委員会	お客様並びに社会から期待される商品・サービス品質を実現していくための品質保証に関する政策と方針の企画・立案

「環境経営格付評価」を受けて

2003年、ニチレイグループは、環境経営格付機構による「環境経営格付評価」を受けました。社会が企業に求めていることは何かについて、格付調査を通じて認識し、改善につなげていきます。



「環境経営格付評価」について

NPO法人 [用語解説](#) 「環境経営格付機構」による、企業の環境への取り組みと経営状態を総合的に評価する格付調査で、2回目となる2003年度は、98社が応募しました。

調査項目は、「経営 5項目」「環境 9項目」「社会(7項目)」の3カテゴリー・21項目からなり、戦略・仕組・成果の3つの視点(合計189設問)から評価されます。

調査結果は、左図のような「経営」「環境」「社会」を示す幹を持つ木と葉の色で表され、企業の取り組みの状況を一望することができます。

図の見方



● 調査結果を受けて

「経営」項目について

経営に関する項目は、現在すでに取り組んでいる内容が多く、概ね評価を得ることができました。しかし、2003年度に発生した製品回収事故の反省を踏まえ、法令遵守、リスクマネジメントに関して、より一層の徹底を図っていきます。

「環境」項目について

現在、取り組みが進んでいない項目があるなど、対策・改善を要する事項が多いことから、土壌汚染対策や物流におけるCO₂削減対策などについて、2006年度末に向けた具体的な目標を設定して、改善に努めます。

「社会」項目について

概ね「優」の評価を受けていますが、一部の事業所の取り組みにとどまっている項目もあります。今後は、ニチレイグループ全体の課題として、方針の策定および具体的な取り組みを実施していきます。